

# 1 研究主題

明日も行きたくなる学校づくりプロジェクト

## 2 研究の具体

### (1) 魅力ある学校づくりプロジェクト

自分たちの未来は、自分たちで創る。選択肢が自分にあることで、主体的になる。合言葉を「トライ&エラー」とし、様々な子どもたちの提案を現実のものとして実現していった。

- モンスターバッシュ挨拶運動
- ハッピーマンデープロジェクト
- 給食を減らさない壁チャレンジ

### (2) 心の小さな SOS 早期発見プロジェクト

まず、相談窓口を複数設定し、相談しやすい大人を選んで相談できるようにした。また、相談したあとは、誰が情報を共有し、どうなっていくのか、丁寧に説明してからアンケートをとるようにした。

不登校傾向の児童には、その児童の学ぶ志向のタイプに応じて、8つの窓をノックするように動機付けを図った。

### (3) いじめゼロ推進プロジェクト

いじめ防止、人権教育にもっとも有効だと考えるのは、演劇を通してのワークショップである。それは、人権にかかわる場面を何度も何度も繰り返し体験的にシミュレーションして考えるからである。そこで、東京からプロの演出家、俳優を招聘し、劇作りワークショップを行った。あえてバッドエンドの劇作りを行い、みんなで各々の正義を語り合った。

## 3 研究の検証及び改善への手立て

県学習状況調査児童質問紙の中で、学ぶ意欲に関連する質問9項目すべてについて向上が見られた。「勉強は好き」、「授業は楽しい」、「学校に行くのは楽しい」と、いずれも県平均を上回り、学習に対して前向きな感情が育まれていると考えられる。特に、「将来の夢」、「人の気持ちがわかりたい」については、100%の子どもが夢をもち、人の気持ちがわかる人間になりたいと回答しており、それが学ぶ動機付けにつながっていると考えられる。

さらなる改善に向けて、子どもの提案を実現するにあたり、そのプロセスをしくみやルールを定着させる必要がある。

